

邑楽町告示第97号

平成23年第3回邑楽町議会臨時会を次のとおり招集する。

平成23年8月4日

邑楽町長 金子正一

1. 期 日 平成23年8月9日
2. 場 所 邑楽町役場 議 場
3. 件 名
 - 1 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

○応招・不応招議員

○応招議員（14名）

1番	塩井早苗	議員	2番	原義裕	議員
3番	松村潤	議員	5番	神谷長平	議員
6番	半田晴	議員	7番	坂井孝次	議員
8番	大野貞夫	議員	9番	田部井健二	議員
10番	小沢泰治	議員	11番	岩崎律夫	議員
12番	小島幸典	議員	13番	立沢稔夫	議員
14番	本間恵治	議員	15番	細谷博之	議員

○不応招議員（なし）

平成23年第3回邑楽町議会臨時会議事日程

平成23年8月9日（火曜日） 午前10時開会

邑楽町議会議場

- 第 1 会議録署名議員の指名
- 第 2 会期の決定
- 第 3 同意第3号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

○出席議員（14名）

1番	塩井早苗	議員	2番	原義裕	議員
3番	松村潤	議員	5番	神谷長平	議員
6番	半田晴	議員	7番	坂井孝次	議員
8番	大野貞夫	議員	9番	田部井健二	議員
10番	小沢泰治	議員	11番	岩崎律夫	議員
12番	小島幸典	議員	13番	立沢稔夫	議員
14番	本間恵治	議員	15番	細谷博之	議員

○欠席議員（なし）

○地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名

金子正一	町長
中村紀雄	総務課長

○職務のため議場に出席した者の職氏名

田口茂雄	事務局長
田部井春彦	書記

◎開会及び開議の宣告

○立沢稔夫議長 ただいまから平成23年第3回邑楽町議会臨時会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

[午前10時03分 開議]

◎諸般の報告

○立沢稔夫議長 日程に入る前に諸般の報告をします。

監査委員から監査結果の報告がありましたので、写しをお手元に配付しておきましたから、ご了承承願います。

次に、本臨時会に説明員として出席通知がありましたので、写しをお手元に配付しておきましたから、ご了承承願います。

本日の議事日程は、配付したとおりであります。

◎日程第1 会議録署名議員の指名

○立沢稔夫議長 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員には、会議規則第117条の規定により、議長において、大野貞夫議員、田部井健二議員を指名します。

◎日程第2 会期の決定

○立沢稔夫議長 日程第2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。本臨時会の会期は、本日1日としたいと思います。これにご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○立沢稔夫議長 ご異議なしと認めます。

よって、会期は本日1日と決定いたしました。

◎日程第3 同意第3号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

○立沢稔夫議長 日程第3、同意第3号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて議題とします。

町長から提案理由の説明を求めます。

金子町長。

○金子正一町長 同意第3号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて、提案理由の説明を申し上げます。

本町教育委員に邑楽町大字鶉1404番地5、大竹喜代子氏を任命いたしたく、ご提案申し上げるものであります。

大竹氏は、長年教職に従事し、小中学校の教頭及び小学校の校長を歴任するなど教育の振興にご尽力された方であり、教育委員として適任者と存じますので、よろしくご審議の上、ご同意賜りますようお願い申し上げます。

○立沢稔夫議長 これより質疑に入ります。

本間恵治議員。

○14番 本間恵治議員 ただいま教育委員の任命について、町長のほうから説明がございました。私は、この教育委員の方については、何ら申し分はない、そういうふうにも思います。しかしながら、今までの経過をたどりますと、町長の行動、言動については、いささか問題があるというふうに思います。それについてただしていきたいと思います。

当初、前教育長が前町長に任命されて、慰留を努められ、そして任期満了までやってまいりました。その慰留に努めた言葉の中には、職員の人事等があるから大変だからお願いをしたというふうな言葉を残されて、前川田教育長を慰留に努めたということになっております。しかしながら、その教育長が9月の任期満了に対しておやめになるときは、「立派な課長がいるからいいじゃないか」というふうな言動も議場の質問の中で町長は答えております。そして、教育委員の方を任命するために、名前を出してからおおむね2年になりますけれども、現在に至っております。前回の6月の定例会においては、1カ月前に町長、そして議長、そして古参の細谷議員と3人でその方をお願いに行ったというふうな話も伺っております。私はそういう経過を見た中で、過去においては、町長が反省文を書かされる。地域バランスが悪いからというふうなことも町長みずから文書に残しております。そして、今回の人事、地域バランスということについては、議会でも小学校区一人一人委員が出て、教育長についてはどこから出てもいいというふうな話も過去になられた方からも私は伺っております。そういう点で、今回は9月に任期が切れるにもかかわらず、1カ月前に教育委員を出してきたということにつきましても、私はいささか疑問がある。そしてまた、この大竹氏については中野東小学校区の委員だと、9月の任期満了につきましても、2人の中野東小学校区の委員が任期満了ということで再任されるか、またほかの方がなるか、そういう形の中で現在に至っております。そのことにつきましても、私は町長からも電話等いただいたときに、9月の定例会にその是正を図った中で、きちんとした対応で出すことについては、私はもろ手を挙げて賛成しますというふうなこともその場で言いましたけれども、さきの全協の中でも私は言っております。そういう中で、なぜこの臨時会を開いてまで8月に出すのか、その1カ月間どうして先に出さなければならぬのか、私には何ら意図がわかりません。そういうことについて逐一説明をいただきたい、そういうふうにも思います。

そしてまた、前の教育委員の候補者につきましても、それだけ1年10カ月余り精力的にお願いを

してまいりました。1度断られたのにもかかわらず、またお願いに行っている。そして、今回の教育委員の任命になっているわけでございますけれども、全協においては、新しい教育委員の方のお名前等前任者には伝えていないというふうな全協での報告もございました。私は町長の姿勢として、やはり町をつかさどるトップ・代表ですので、そういうことに遺恨を残さないようなやはりそういう言動、行動をきちんととった中で私は対応するべきだと思いますけれども、町長のご意見をお伺いしたいと思います。

○立沢稔夫議長 金子町長。

○金子正一町長 今ご質問、ご意見等があったわけでありますが、私の今までの行動、言動に問題があるというふうなことでありますが、過去には議員がご意見として出された部分についてはありました。そういった過去のそれぞれの経緯を踏まえて、本日提案をお願いをしたという経緯でもございますので、よろしくご理解を賜ればと思います。

また、なぜ9月に2人の委員が切れるのに、1カ月前に出したのはなぜかということですが、これにつきましては、まさに議員もご意見の中にもありましたが、長期間にわたっての空席があったということ考えた中での提案ということで、その長期間の空席ということ踏まえて提案をさせていただいているというものでございます。したがって、任期9月に切れるという考え方もあるわけでありますが、私の考え方としては、そのようなことでお願いしたいものでございます。

それから、最後に、今後そういったことについて遺恨を残さないようにすべきではないかということについては、これはそういったことがもし状況として出て、議員のほうで感じたということであれば、それは当然のこととして、遺恨が残るような状況では困るわけですので、十分反省をしていきたいと、こんなふうに思っております。

○立沢稔夫議長 本間恵治議員。

○14番 本間恵治議員 私が質問した中身に対して、具体的には何も答えていない。あやふやな言動で済ませてしまうという考え方だと思います。それでは、はっきり一つ一つ私は申し上げたいと思います。

町長が川田教育長を慰留させたときには、大事なときだからと言いました。しかしながら、川田教育長がやめて不在になったときには、立派な課長がいるからと、代理がいるからと申しました。その場限り意見が変わるのですね。どうしてそういう対応をとるのか、私にはわかりません。そして、今回1カ月早く教育委員を任命され、心の中には教育長を早くという町長の気持ちだと思いますけれども、あなたの任期はわずかあと3カ月余りです。そういう部分では、あなたの選挙を戦うために、教育長を早くつくらなければ、あなたは政治生命、命取りになると、そういうことも私は考えた中で、慌てて出してきたのかなというふうにも思います。そういうことについても、きちんとした見解を出していただきたい。

それから、地域バランス、あなたが反省文を書いた中で、自分で話したのです。それについて、

その地域バランス、どのようにお考えなのか。わずか1カ月早めたために、中野東小学校区の教育委員は3人になります。中野小学校区にはごさいません。現在いません。そういう現状をどのようにお考えなのか、きちんとした見解をお伺いしたいと思います。9月の定例会において3人を精査した中で出して任命するのが私は一番理想だと今でも思っています。そのことについて町長はどのようなお考えをお持ちなのか、きちんとした見解を出していただきたい。あやふやな見解では困ります。お願いします。

○立沢稔夫議長 金子町長。

○金子正一町長 まず、あいまいな答弁が多かったのではないかとありますが、決してそのような考え方ではありません。その時々のはやり状況ということも大切だということの認識の中から、そのようなお答えをしたかと思えます。そして、私の任期が残り3カ月、そしてその選挙があるので、有利に戦うために1カ月早く出したのではないかとというようなご質問がありますが、決してそのようなことはありません。先ほど申し上げましたように、長期間にわたっての空席ということがあるものですから、本日議員の皆さん方に提案をし、ご理解をいただきたいという考え方でもございますので、決して身のためということではありませんので、ご理解をいただきたいと思えます。

それから、地域バランスの考え方ということでありますが、これはさきの議会の中でそういったご意見が出されました。その地域バランスということも当然大事だと思います。思いますが、やはり町全体の教育委員という、教育をつかさどる教育委員ということで考えていけば、ややもすればそういった状況もやむを得ないのかなど。しかし、過日の地域バランスということもきちっと念頭に置くようにというようなお話もありましたから、決してそれをそのままにするという考え方はありません。したがって、その委員の任命に当たっては、そういったことも考慮に入れた中での任命ということは大切かなど、そういうふうに認識をいたしております。

それから、3人で出すことがよかったというふうな思いではありますが、議員の考え方として受けとめておきまして、今回はそのような形には9月の任期を迎える方もいるわけではありますが、先ほど申し上げましたそういった考え方でぜひこの臨時会においてお願いをしたいという私自身の考え方に基づいてお願いするものでございます。

○立沢稔夫議長 本間恵治議員。

○14番 本間恵治議員 何ら私は町長の答えの中には、具体性も何も見出せない、そういう返答しか聞かえません。それならば、踏み込んでもう一つお聞きしたいと思います。

前教育委員候補に関しましては、幾度となくお願いに行っておりますね。今回の委員にどのような形でお願いをしてあるのか私は全然わかりませんが、前回の委員は立派な方でした。私はそれだけは最初から言っているつもりでございます。その人を断念して今回の委員を9月の任期満了に関係なく1カ月早く出してきた。そのことについては私はちょっと冒険過ぎるのではないかといいふうにも思います。なぜなら3人一緒に出して、私は全会一致で任命されることをずっと望ん

でいましたけれども、何かぎくしゃくしている。そのことについて町長は具体的な答えは私は今答えていないと思いますよ。みんなはぐらかしですよ。全協で前の方にはお話を通してあるのですかという話も先ほどから私はしていますけれども、一言も町長は答えていませんよね。前の方にきちんとお話をして、了解とった上での教育委員さんの任命なのかどうか、そういうこともきちんと答えていないですよ。これは全部会議録に載りますから、私が質問したことについて、町長はこういうふうにしかならなかつた、私は町民の皆さんにも明らかに訴えていきたいと思っておりますけれども、聞くことに決して私は町長の姿勢が答えることに感じられない。このことについては私は残念でなりません。あなたは話せば話すほど、質問に対して歪曲をしてごまかして答えているだけですよ、今までの。これでは決して私は町の行政をつかさどる町長の立場として、情けないですね。任期満了に伴い、不公平の是正を図った中で、町全体のバランスを考え教育委員を任命することが私は町長の立場としたら一番やらなくてはならないあなたの町長としての姿勢だと今でも思っていますけれども、そのことについてきちんとした見解をもう一度お願いいたします。

○立沢稔夫議長 金子町長。

○金子正一町長 前段の関係で前にお願いをした方についてということに、了解をとった上の提案かというようなお話ですが、私は全協の中でもお答えをいたしました経緯の中ではまだ行っていません。その議員のご意見の了解をとった上でということの意味がちょっと、どのような了解かということもありますから、具体的にこうだということは申し上げられませんが、提案をする上での前段の部分では、前の方にいろいろご相談をした経緯はあるということだけは申し上げます。提案するために、そのための了解をとったかということでありましたら、特に前の方については、そのようなことはありません。

それから、責任を持った考え方で行政運営をしていきなさいということですが、私は常々町の運営をつかさどる責任者としては、責任を持った考え方で提案をさせてもいただいておりますし、また行動もそのような考え方で行動しているということでご理解をいただきたいと思っております。

○立沢稔夫議長 本間議員、まとめでお願いします。

○14番 本間恵治議員 教育長が不在ということで、町の教育関係の中にはいろんなことが起きていますよね。例えば当初エアコンの工事ということで、早く入札しました。でも、この暑さの中でエアコンは間に合わないのですね。何のために早く入札したのだらうと私は思っています。今の町長が議員のときですか、扇風機は私がつけさせましたということで、議員に立候補したときにそういう町民にアピールをしながらやっていたときがありましたね。それから三、四年たって、今度はエアコンをつけると。私は最初からエアコンのほうがいいのではないかなというふうなことも考えましたけれども、これだけある意味では二重投資なのですね。そしてまた、学校のフラワーパークによる子供、小さい子が腕を骨折したか何かで和解をしました。その当初は保険で賄えるからいいのではないかとということで簡単に和解をしたのですね。保険でフラワーパークの管理責任が半分、こ

うちでその子供をけがをさせた同義的な責任が半分ということで、半分ずつ出し合って和解しました。それが今度は後遺症ということで、後遺症はまた別だということで訴えを起こされて、今裁判で争っているのでしょう。そういうことを一つ一つとっても、教育長がいないということについては、私は町の対応もそれなりに簡単に済ませてきた。それが一つの原因にもなっているのではないかなというふうに思っています。そういう部分では、いろいろきちんとした見解を出していく。だれが責任なのか、そういうことも私はきちんとした見解を出した中で、二度とそういう不祥事が起きないように、それを対応するのが私は教育委員会、教育長を中心とするその中の私は立場だと思っています。それを教育長不在のままおおむね2年間今までやってきているのです。いろいろ話を聞きますと、教育長不在が問題なのは、学校の先生、職員の人事が一番だという話は私も聞いております。ですから、前川田教育長を慰留に努めたときには、町長はそういうつもりで慰留に努めたのでしょうか。それが任期満了で退任されたときには、立派な課長がいるからいいではないかという話で空席にしたのですよ。それで、次の教育委員を任命するのに、3月31日まであなたと同じように勤め上げて、4月1日から教育長に採用しようと、そういうふうな形の中で3カ月ほど延ばして名前を出してきて、そしてそれを3カ月後に、4月1日から採用しようと、そういう絵をかいたのは町長ではないですか。そして、途中ではいろいろ見直しする中で、中野小学校区に教育委員がいないと、そういうことについては、やはり中野小学校区から教育委員を選ぶべきだと、そういうふうな議会からの意見も出されました。それに対してあなたは反省文を書かされて、自分みずから地域バランスということを入れたのでしょうか。そして、今回1カ月前に出し、大竹先生はいい方だと思いますよ。ですが、中野東小学校区が3人になってしまう、1カ月の間。まだほかの任期満了を9月で迎える2人の方は私は町長の腹の中で継続していただくのか、やめていただくのか、再任していただくのか、私はあなたの腹の中にもあるし、またその本人の意向等も酌み入れた中で私は対応を迫られてくるのではないかと思うのですよね。それで、きちんとした地域バランスを図った中で、教育委員会の構成をきちんと対応できるのであれば、私はしようがないかなと思いますけれども、1カ月前に出して、任期は任命されて4年間なのです。ということは、今後も3名の方が一緒には任命されないということになりますね、1カ月ずれるのですから。そういう前例を町長がみずからつくるわけですから、そういうことについても私は、ましてや8月、お盆休み、そんなに教育委員の任命についてここで臨時会を開いて任命して、いつその中で教育長が選ばれるかはわかりませんが、おおむね9月からになってしまうのではないのですか。ここで選んですぐにそれができるかどうか。教育委員会も定期的に会議を開いているのでしょうかから、その会議を待ってやるのか、特別に開いて早く任命するのかわかりませんが、私はそういう部分では本当に不自然な対応だと思っています。そういう点については、私は教育委員の候補者には申しわけございませんけれども、町長の今回臨時会で開いているその姿勢については、私は賛成できない、そういうふうに思います。

以上。

○立沢稔夫議長 ほかには質疑はありませんか。

田部井健二議員。

○9番 田部井健二議員 ようやく待ちに待ちました教育委員の任命同意という案件が本日出されました。私はこのこと自体、決して悪いことではない、むしろ町にとっていいことであるし、望ましいことだと思っております。町長から提案理由の説明がございましたけれども、聞いている限り、その任命同意者の経歴、略歴ですか、しかお話を伺っていません。もう少し細かくどうして今なのか、提案理由の説明をもう少し掘り下げた中で説明をいただきたい。まずそれが1点。

あとは全協の中でも、ご確認を何点かさせていただきましたけれども、まことに不思議な話なのは、町長は6月の定例会一般質問の中で、私には意中の人がいると。私がお聞きをしました、全協の中で。その意中の人というのは、まさしく今回提案をされた方ですかというお伺いをいたしましたけれども、町長はそうではないというお答えをいただいております。その辺のところをもう少し詳しくお聞きをしたい。

それと、先ほどの議員からも出ましたけれども、前々からお願いをしていた方に、先ほどの議員は何やら了解をいただいたのかというような質問をいたしておりましたけれども、私は了解ではなくて、今回このような形になるこれまでの経緯、経過、それらを今まで予定をされていた、お願いをしてきた方にご報告をしてあるのかどうか。さきの全協のときにはたしかないという報告でございましたけれども、それから1週間ほどたっております。その間にその方に報告に伺っているのかいないのか。

また、これも全協の中で私はお聞きをしておりますけれども、今回のこの教育委員の混乱、騒動、私はすべて町長に責任があると断じております。町長はそのことについて十分責任は感じていると。しかしながら、一切責任はとりたくないとおっしゃってございましたけれども、そのことについてもそのお気持ちが変わっているのかいないのか。

そして、最後に、本日この日を迎えるに当たって、この教育委員の任命同意を議会に提案をなされたわけでございますけれども、このことについて今現在どのような町長は心境でいるのか、この辺をお聞きをしたいと思えます。

○立沢稔夫議長 金子町長。

○金子正一町長 先ほど提案の中で、もう少し詳細にということですが、特にこの提案をしている方については、識見とも高潔であり、資質大変すばらしい方であって、教育振興について熱意のあるという方でございますので、まさに学校教育について長年にわたって従事をされ、そして最終的には学校の経営責任者として携わってきたということですので、この提案者については、ただいま申し上げたとおりでもあります。

それから、6月定例会の中で意中の人がいるのかということですが、そのとき、今の人な

のかどうかということではありますが、その6月定例会の中では、そこまで話が進んでおりませんでしたから、私はそのようなお答えをさせていただいたということでもあります。

それから、前の方に報告をしてあるかということではありますが、その後してありません。この定例会の中で同意をいただく、あるいはこれからお願いするわけではありますが、そういった結果としては考えていきたいと、そんなふうに思っております。

それから、責任を感じているかどうかということではありますが、私はそのような過去のことはありましたが、これからの教育委員会の正常な体制ということをつくり、教育行政を充実させていくということが、そういった委員の任命については、大変重要であるということと考えておりますので、そのような形で進めていければという考え方です。

それから、提案についての今の心境ということではありますが、そういった経過を踏まえた中での本日の提案ということでもありますので、ぜひ議員の皆さんにご同意をいただいて、教育の問題を委員会では充実をしてもらい、町としてもそういった形での支援をしていきたいという考え方です。提案についてはぜひお認めをいただいて、自信を持って教育委員会の委員としてお願いできればと、そういう心境です。

○立沢稔夫議長 田部井健二議員。

○9番 田部井健二議員 何やら具体的にはいまいちわかりづらいところが多いのですけれども、責任は何ですか、これから教育委員会を正常化させて、一生懸命機能していく、それが責任のとり方だと、そういうことでしょうか。私は違うと思いますよ。1年10カ月間教育長不在で、町で初めて、県内でもきつと、1年10カ月ときょうで9日、初めてですよ、こんな話が起ったのは。すべてあなたの責任ではないですか。責任の一端があなたにあると、そんな生半可な話ではないでしょう。一から十まで私はすべてあなたの責任だと思っています。なぜなら前任者が9月30日の任期をもってご退任をいただくという話は半年以上前からわかっていたことです。だとすれば、あなたはもうその年の9月の定例会で新教育長になっていただくべき教育委員を議会に任命同意を求めて当たり前の話でしょう。そういった仕事を一切やらないで起きた話ではないですか。それが今日まで尾を引いて、どれだけの方に迷惑をかけて、とてもではないけれども、数え切れないですよ、迷惑をこうむって心配をした人の数は。ましてや大変次期教育長としてお願いをするといった方には、どれほどの迷惑をあなたはかけたか、そういった自覚がちっともない。前教育長についてもそのとおりです。大変なあなたは迷惑をかけております。職員についてもそのとおりではないですか。だれですか、1年10カ月間、教育長の職務代理者を務めたのは。職員ではないですか。きちんとした別の肩書きがあるのですよ。それをあなたはただ働きで1年10カ月間、二足のわらじを履かせて迷惑をかけ続けた。私はそういう人たちのためにもあなたは何らかの形できちんと責任をとるべきだと思っていますよ。それを一切とりたくない、これからこういうことで頑張っていくのだと、それはこれからのあなたの決意表明ではないですか。決して責任のありようではないですよ。私はこれま

での今日ここまでの責任を明快に、明確に示したらいかがですかという話をしているのですよ。ここで辞職声明をしろとか、懲戒処分を受けろとか、私そんな話一切していませんよ。あなた自身が判断をして、町民にわかりやすい何かしらのけじめとして、形として責任を明快にあらわしたほうがいいと、そういう提案をしていますけれども、一切その気はございませんか。もう一度お伺いをいたします。

○立沢稔夫議長 金子町長。

○金子正一町長 今日まで長い期間にわたっての空席ということについては、過去の議会の中でもそれぞれ議論の中でおわびをし、また町民の皆さんと関係する児童生徒の皆さんにもおわびをした経緯はあるわけではありますが、これは議員が言われますように、私は一切責任を感じていないというようなことですが、決してそんなことはありません。今日までそういった状況をつくってきたということについては、これは私のほうのいろんな問題があったわけですから、そういうことを考えれば、この責任については私は十分感じていくということの思いは以前と変わっておりません。そして、その責任のとり方については、これは町政運営についてもそうですが、町の行政執行、そして行政機関は変わりますけれども、教育内容の充実ということについて、教育委員会の十分な正常な体制ができ上がった後に、その教育委員会のほうへの支援ということは十分考えていく。そのことによって十分責任を果たせるかどうかはわかりませんが、支援をしていくことが大切であるし、私の仕事であるかなと、そんなふうに思っておりますので、責任を感じていないかどうかということからいえば、今申し上げたように、今日まで1年10カ月ほどになりますが、超えましたが、そういった期間教育長が不在であったということについては、これは重く受けとめ、責任は感じております。

○立沢稔夫議長 田部井健二議員。

○9番 田部井健二議員 まず、わからないお人ですね。私はあなたが責任を感じていないと言っていないのですよ。責任を感じていると認めていると私も認めているのですよ。私は町長が責任を感じていないのだと、そんな話はしていないのですよ。責任を感じて当たり前なのです。感じているのでしょうか。感じて当たり前なのです。だから、その感じている責任を明快に、明確にあらわしたほうがいいと、私はそういう話をしているのですよ。何ですか、それは。教育委員会が正常化になったら、それを支援をしていく。当たりの話ではないですか。あなたが教育委員を任命同意を求めて、正常化になった教育委員会の足を引っ張ってどうするのですか、そんなのは。あなたがそこに支援していくなんていうのは当たりの話ですよ。それはあなたの仕事です。私はそういう話をしているのではない。明快に責任を形の上であらわしたほうがいいよと、そういう話をしているのですよ。あなたが責任を私は感じていますよと、感じていなかったらばかでしょうに。だれがどうしたって、これだけの騒ぎを起こして、日本国内だってめったにないような、こんな大変な恥ずかしい不始末を起こしてですよ、責任を感じていないと言ったら、どこか病院か何かに入らなくて

はならない話になってしまいますよ。でしょう。だから、責任を感じているというのは当たり前なのです。その感じている責任を何らかの形であなたはとらなくてはならないでしょうという話を私はしているのです。あなたの立場はですよ、仮にあなたに一切の責任がなくて、あなたに何一つ落ち度がなくてもですよ、二百何十人かのあなたは部下を抱えているわけですから、その部下が起こした不祥事、過ちについてですら、あなたは責任を負わなくてはならない立場にいるわけですよ。あなたに落ち度がなくてもです、あなたに責任がなくても、あなたはそういった場合は、そういう責任をとらなくてはならない立場に今現在いるのですよ。それが部下が起こしたわけでもない、取り巻きが起こしたわけでもない、あなた本人が起こした不祥事ではないですか。どうしてその責任をあなたがとれないのですか。それで、あなたはこれからこの役場の職員が何かしら間違いを起したり、過ちを起したり、人間だから必ずそういうことあるのですよ。あなたはそのときに部下に責任をとらせるのですか、自分で何もとらなくて。それでははじめがつかないでしょうということをおしは申し上げたい。その責任のとり方についても、私は差し出がましいことは一言も言っていない。ああせい、こうせい、そんなこと一度も言うつもりもないし、思いもつかないです。それはあなたが考えて、あなたの中で判断をして、あなたがとる責任なのです。例えばそこで土下座一つしたって、それだって立派な責任のとり方でしょう。私は一般質問の中でも提案しました。頭の一つも丸めてみたらどうですかと。どの程度が基準に合った責任だかは私にはわからない。だから、私はあえて具体的には示しませんけれども、あなたが考えて、あなたの中で形としてどういう形で残さなければ、あなたは職員に対してこの先どうするのですか。職員が仮に間違っ問題を起こしたときに、あなたに責任をとれと言うだけの資格をあなたが持ち続けられるのですか。できないでしょう、それが。自分でやったことは棚に上げておいて、職員がやったら、ああ、おまえは懲戒処分だ、おまえは訓告だ、戒告だ、そんな話ができないでしょうに、これから先。だから、私はあなたにきちんとしておいたほうがいいですよという話を申し上げているのですよ。もう一度お聞きをいたします。

○立沢稔夫議長 金子町長。

○金子正一町長 過去の点についていろいろその問題点についての状況であります。今後このような状況をつくらないように鋭意努力をして、町民の皆さんにお返しをしたいと、そういうことで考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○立沢稔夫議長 田部井健二議員、まとめをお願いします。

○9番 田部井健二議員 今後このような状況をつくらないように、どこでできるのですか、そんなことが。こんな薄らみともないような状況が二度とこの町に起こるはずがないのです。群馬県内どこを探したって起きていないのですよ。今後このような状況が起こらないように努力をする。努力なんかしなくたってこんな状況は起きないのですよ。あなたぐらいですよ、こんな状況を起こしたのは。それで、これだけ言われても、何一つ、何一つ責任は感じるけれども、責任はとりたくない

いと、あなたはそういうふうに言っているのですよ。この後まだまだ続くのですよ。あなたが仮に2期目に当選すれば、また12月から新しい4年間が始まるのですよ。そのときの町長は、責任は感じて一切責任はとりたくないのだと、そういう町長だとあなたは言われるのですよ。だから、先ほどの議員ではないけれども、今回この時期にこういった教育委員の任命同意という案件を出すのも、あなたの選挙運動の一環ではないかとちまたでかなり多くの人がそういう話をしております。あなたはそれについて、「いや、そんなことはありません」。当たり前ですよ。そこで、「いや、そのとおりです」と言うはずがないではないですか。でも、町民の方に、多くの町民にこの教育委員の任命同意をきょう出すのは、あなたの選挙運動の一環だと、そういう声が多数出ていると、そういうこと一つをとっても、あなたは恥としなくてはならないのですよ。真偽はわかりません、私には。それが本当かうそか、そういう思いがあなたの気持ちの中にあるのかないのか、私にはわかりません。しかし、そういう話が出ているのは確かです。なぜそういう話を出されるのですか。あなたが自分の責任は感じて、一切私は責任はとらないと、そんな姿勢でいるから、そういう話が世間でいっぱい出回ってしまうのです。私はこの役場の職員はかわいそうだと思います。これからもまだまだ長く続くのか、3カ月で終わるのかわからないけれども、そんなトップリーダーを持ったら、職員は仕事をする気もやる気も私は失ってしまうと思いますよ。もう少しここで答えが出なくても、自分で考えて精査をして、思いつくことがあったら何らかの形で責任の所在を明確にして、責任をとったほうが良いということを私は申し上げます。

以上。

○立沢稔夫議長 ほかにありませんか。

小島幸典議員。

○12番 小島幸典議員 町長のほうからはきょう大変長く我々待ちましたけれども、教育委員の任命提案ということで出されました。大竹さんの経歴を聞いた中では、確かに「功成り名遂げて」ということで、すばらしい人かなと。学校の先生であれば、校長になって、それを勤め上げるということは、本当に1つ大変な仕事を成し遂げたのかなと、そういうふうに思っている中で、先ほど2人の議員からも話されたように、教育長がないという町は、これは大変なマイナス面のほうが多いかなと。

そういう中で、私は一般質問の中で、その辺を町長の任命のなかなかできなかったときに、私は公募公選の進言を議会でもしてきました。そういう流れの中で、なぜ公募公選かといいますと、やはり町民に関心を持ってもらえないと、いい環境、いい教育が進んでいかないのではないかなと。私の物の考え方としてみれば、私の区は8区ですけれども、ここずっと町の歴史の中で校長、また教員をやっていない人が8区の中から2人出ています。2人立派な人です。大きな会社の社長と、長く町に勤めて勤め上げた人と、私の東と北と、本当に隣から出ています。これは立派です。そういうことを考えれば、何が何でもこれは学校の校長先生ではなくても、学校の校長先生も偉いです

よ。立派ですよ。だけれども、こういう長い期間不在だったときには、やはりこの2万8,000人の町民の中から、どうか助けてくださいよという真摯な気持ちですが、そして応援する、そういうことを考えれば、ちょっとやっぱり1年10カ月、約2年間不在だったということは、これは大きな議会ではかなり心配して進言をしてきたのですから、町長の任命がかなりおこなわれている、うんとおこなわれてしまっている。そういうことで、きょうこれを提案されたということは本当にいいことだと、私は賛成はします。しかし、教育委員会というのはどういうものかということを町民に知らせる義務があります、私たち議会も、また町長も。そういうことで、これは教育長を選任する議会ではなくて、教育委員を任命する議会だということをまずは町長、そう思いますか、思わないですか、その辺を答えてください。

それと、もう一つ、教育委員会は独立機関ですよ。これはもうここで教育委員を議会で同意すれば、あとは教育委員会のほうにいろいろ学校のこと、社会教育のこと、そういうことが移されて提案されることを執行部、町長を初めいつ教育長決まるかわからないですけれども、教育長、教育委員会のほうからの提案事項に対しては、議会が賛成、反対というようなことで、予算のことは特にそうだと思います。9月は決算議会になりますから、そういうことを含めて、まずは町長、ここで任命されるのは教育長ではないですよと、教育委員ですよと、その後教育委員会で、教育委員会は独立機関ですから、そこで互選なのですよと、それでその辺の任命されたときには、要するに非常勤ではなくなって、常勤になるか、5人いますけれども、ほかの人たちは非常勤ですよとか、その辺の説明をちゃんとして町民に向けて説明しないと、いつも議会はごたごたしているなということで、町民はわかっていないのですよね、独立機関だということが。その辺をひとつ簡略的に町民に、また我々議会に発信してもらいたい。

だから、2つ今ちょっと質問しますけれども、その辺を町長は簡略的にわかりやすく説明してください。

○立沢稔夫議長 金子町長。

○金子正一町長 まず、議会において任命についての同意ということは、教育委員ということで議員のご意見のとおりであります。

それから、教育長というのは、教育委員会という独立した機関でもありますので、教育委員会の中の委員さんの互選によって教育長が選出をされるということで、そのとおりでございます。

○立沢稔夫議長 ここで暫時休憩をします。

〔長崎原爆の日 犠牲者に黙禱〕

〔午前10時58分 休憩〕

○立沢稔夫議長 休憩前に引き続き会議を開きます。

〔午前11時15分 再開〕

○立沢稔夫議長 小島幸典議員。

○12番 小島幸典議員 先ほど町長のほうから教育委員会について、ちょっと説明等を受けまして、確かにそのとおり、町長の説明のとおりだと思います。そういう流れの中、私がなぜこういう初歩的なことを町長に求めたかという理由はあります。何回か役場で人と会う、また学校、幼稚園等に行きますと、早く任命してくださいよと、現場のほうからも何回となく質問されています。ということは、現場でも議員のほうからの提案または任命できるのかなと勘違いしている面があるのかなと、そういうことで、小学校の中でもそういう要望というのですか、してきていました。そういうことを考えると、何か相談があっても、どこへ相談していいのかなと、やっぱり教育界の中で柱が1つあれば、そこへいろいろと心の面、精神面も含めて、経済的なことも含めて、また一番大事なそういう子供たちの指導のほうに関しても、いろいろ迷うことが若い先生なんかにあったのかなと、またあったと思います。そういう流れの中では、非常にきょうおくれればせながら、大竹さんを提案してくださいまして、本当によかったなと、私はそういうふうに思っています。

そういう流れの中で、任命された暁には、これは今の学校教育課長、兼任している課長には早急に教育委員会を開いて、そして現場のほうに発信してもらえれば、精神的にも安心して、「ああ、今度はようやく相談相手ができただな、現場も回ってきてもらいたいな」と、そういうことになると思います。そういうことで、ぜひ町長、その辺の心構えをお聞かせ願いたい。

○立沢稔夫議長 金子町長。

○金子正一町長 ご質問のとおり、これから早急に進めてまいりたいと、こんなふうに思っております。

○立沢稔夫議長 小島幸典議員。

○12番 小島幸典議員 今、町長から明快な答えが返ってきましたけれども、とにかく教育委員会というのは独立機関ですよと、そういう流れの中で今度は互選、教育委員の中で教育長が選ばれた場合は、教育長はこれは常勤ですよ。その辺をはっきり町民に伝えてもらいたい。全協の中でも教育委員と教育長は違うのだと、こういうことを町民にははっきり任務を説明しないと、混乱しています。そういうことで、町長、ひとつその辺を明快に町民に発信してもらいたい。

以上。

○立沢稔夫議長 金子町長。

○金子正一町長 教育長は選ばれた暁には常勤ということになります。町民の皆さんに示すべきだということについては、そのとおりだと思っておりますので、そのようにいたしたいと、こんなふうに思っております。

○立沢稔夫議長 ほかに質疑ありませんか。

大野貞夫議員。

○8番 大野貞夫議員 今回のこの教育委員の議案の提案ということについては、会議が始まってから何人かの議員さんからるる今までの経過、そしてこの間における町長の責任、こういうことも含めてるお話がずっと長くやられてきたわけであります。やはりこれはなぜ1人の教育委員を決めるのに、こういう非常に話になっているかということは、これは言わずもがな、やはりこの間の経過、こういうことがこういう一つの話になっているということは、これは否めない事実であろうと思います。

私もこれから私の発言は、今までの皆さんの考え方とかなり重複する、こういう面があるかと思いますが、一応私の考え方を言いまして、町長の考え方をお聞きしたいと思いますが、ご承知のように、やはり前の、前任者の教育長が辞職をされて、そして今言われているように、約2年近くになるこの空白があったということは、これは町の職員に対するしわ寄せといえますか、こういうことに限らず、この呂楽町の教育行政全般にわたって、非常に教育長不在ということが、かなりの面でマイナスの働きをされてきたというふうに私も思うわけであります。この責任はひとえにやはり町長、これは責任が大変重いものがあるかと思いますが、そして、この間いわゆる特定な人の名前も出されてきたわけですが、この間のやはり従来呂楽町の教育長が決められてきたと、こういう経過の中では、議会の100%の支持、そういうものを得て、そして教育長も非常に仕事をやりやすい、こういう環境の中で決められてきたことはご承知のとおりであります。この間のこの町長の決め方の問題、これがやはり最初一つにつまずきといえますか、そういうものが私はあったのだと思いますし、同時に先ほど来からお話が出ておりますように、地域のバランス、これの公平さ、こういうことも一般の町民の中からも指摘をされ、私もある町民の方から封書でこの間のやはり中野小学校地区から出ていないというのはおかしいではないかというようなお手紙もいただいたりしてきたわけでございます。

そして、この間幾多の議会の中でも、議員の中から町長に対してこれ一日も早くこの問題を解消しなければならない、こういう提案なり、いろいろあったわけですが、私は今思うに、町長は私なりに自分は一生懸命やってきたのだということを、質問をされればそういう答弁をされてきたかと思います。しかし、私を見る目では、それは正しいかどうかわかりませんが、必ずしも目に見える形で果たして町長がこの教育長の不在という問題についての解消するために、どれだけ頑張ってきたのかな、具体的にどういう動きをしてきたのかなという点では、私はちょっと甚だ疑問に感じているところがあります。

これは私全協の中でもちょっと触れましたけれども、町長の任期はあとわずかでございます。そして、そういう中で私は個人的にはもう事ここに至っては、なかなかこれは決まらないのではないかと、今回の町長の任期中には、そしてまた、要請をしても受けられる方はいないのではないかと、個人的には私はそう思っておりました。そういう中で、残された町長の任期、こういうことを考えてみますと、ここで臨時会を開いて決めるということは、私は一面的には理解もする面もあるので

すけれども、やはり1つには、町長がこれは町長選挙があるなしにかかわらず、再任されるか、あるいは新しい町長さんが選任をされるか、このことを待ってからでも、私は同意を得るための議題として出してもいいのではないかと、そのように考えていたわけでございます。そういう点では、もしそれがどうしても無理だという点から考えてみた場合に、百歩譲って、同僚議員からも指摘がありましたように、来月の9月には任期の切れる委員さんが2名出るわけでございます。これを待って、そしてまたその同意を求めても、これは一番こういう形の中で一般の町民あるいは議会に対しても非常にすっきりした形で、もっと素直な気持ちで我々も選べるのではないのかなと、こういうふうに私は思っておりました。これが一般的な、一般常識として考えてみた場合に、私はこれが一番いいのではないかなという考えが、今でも私はそういう考えを持っておりますが、このことについて町長の考え方をお聞きしたいと思います。

○立沢稔夫議長 金子町長。

○金子正一町長 議員のご意見はご意見として真摯に受けとめていきたいと思っております。しかし、先ほども申し上げましたが、この長い期間そのような不在という期間がありましたので、私の責任において、やはり教育委員5人体制ということであります。したがって、その委員の任命同意をお願いしているものでございまして、今後いろんなご意見がありました、決して選挙目当てでということはありません。繰り返しになりますけれども、そういった長期間の不在ということ踏まえて、9月でなく、1カ月早くということになります、お願いしているものでございます。まして、全協でも申し上げたかと思っておりますが、2学期も始まるわけ、夏休みが終わると。そういうことも十分踏まえた上での提案ということでもございますので、私の考え方としては、議員の考え方と若干異にいたしますが、そういう考え方をお願いしているものでございます。

○立沢稔夫議長 大野貞夫議員。

○8番 大野貞夫議員 今、町長の答弁の中で、言わずもがな、町長選挙のためにやっている、そういう考え方ではないということが言われました。私もそういうことがあってはいけないと、町のトップの町長のとるべき態度とすれば、もっと正々堂々と、そして今までのこの間の2年間のことも含めて、その責任ということも含めて、それだったらもう少し議会や町民の皆さんから、ああ、町長のやっていることは間違いなかったと、確かにこの間は不在でということはあるけれども、やはり決め方としては、そういうその私が今提案したような考え方の中でもしやっていたら、もっと素直に受けとめることができるのではないかなというふうに私は思っているわけなのですが、今言わずもがな、町長みずから選挙のためではないと言いました。しかし、先ほど同僚議員の発言からありましたように、多くの町民の中に入っていきますと、今、ここであと数カ月で任期の切れる町長が提案をしてきた、私はその提案者の大竹氏については、何ら問題はないと思っております。ただ、この町長の手法です。私がいつもそう思うのは、そのやり方、あなたは正しいと思っておられるかもわかりません。しかし、やはり議会は議会として両輪、執行部と議会は

両輪のごとく、時には協力をしながら、そしていい町づくりのためにやっていかなければならない。一方で、私たちからすれば、執行部に対するチェック機能、これを大いに発揮しなければならない。これが議会の本来の姿であるわけですので、この辺での発言を皆さんの議員が私はされているのではないかと思います。そういう点から考えてみた場合には、これは私一人だけの考えではなくて、やはり町民の多くの中で、これは町長選ありきかな、こういうふうには思わざるを得ないようなことを実際に町長が提案をしてきているというふうには私は思われても仕方がないのではないかという気が今しておるわけでございます。ぜひその辺のところは、この採決の結果、どういうふうになるかわかりませんが、そういうことをひとつ私は町長に私としての苦言を呈しておきたい、このことを発言をして、私の質問を終わりたいと思います。このことに対しての一言町長の考えがありましたら、いただきたいと思います。

○立沢稔夫議長 金子町長。

○金子正一町長 議員の意見として真摯に受けとめて、今後の運営に反映していければと、こんなふうに思っております。

○立沢稔夫議長 ほかに質疑はありませんか。

小沢泰治議員。

○10番 小沢泰治議員 本当に邑楽町も県内において恥ずかしいときが過ぎてきたわけですけども、19年12月からはたから見れば、「変だな、邑楽町は。邑楽町の議会は」ということで、いつも皆さん言われたかと思えます。本当の原因が何であるかわからない。議場でいろいろ議論が出れば、それは議員が悪いのだということでは伝わっていくのが世の常のような気がしますけれども、現実には邑楽町においては、そういうものではないわけですね。

それで、私過去にもお話ししましたが、過去があって、今があり、また邑楽町の将来があるということですから、その辺をちょっとお話しさせていただきながら、今回の教育委員の任命について同意を求める件、それに入りますけれども、同意を求める教育委員がしっかりそろうということは、邑楽町の教育行政において非常にいいことだと思います。ですから、私は賛成をさせていただきますけれども、過去、現在、将来ということ考えた場合に、町長に幾つか、何点かお聞きしたいと思います。

過去があるから現在があるわけで、19年の12月に前の町長選挙がありました。そのとき、なぜ前教育長が、教育委員みずから自分で決めるわけですからあれですけども、なぜ教育長が辞任しなかったか、その辺わかっている範囲でまずお聞きしたいと思います。

○立沢稔夫議長 金子町長。

○金子正一町長 前の教育長がなぜ辞任をしなかったかということですが、前の教育長については、私のほうに辞表が出されました。出されましたが、私が慰留に努め、お願いをしてきたという経過でございます。

○立沢稔夫議長 小沢泰治議員。

○10番 小沢泰治議員 過去の答弁で、大事な時期だからぜひよろしくということで、3月までというお話、過去にお聞きしました。それで、20年の3月が来、21年9月、22年3月、そして23年8月となるわけですけれども、20年の3月、一つの区切りが、人事という区切りがついた。それが一つのまた次の機会だと思えます。また、そして21年の9月、任期満了、それも時期だと思えます。22年3月には新たに教育行政において有力な方を提案されまして、しかし、提案は口頭では出ましたが、議会にはその方はのっていませんでした。その件につきましても、議員が悪いからどうのこうの、いろいろ世間はうわさは飛び回りました。しかし、議員は一切悪くありません。町長みずから提案を取り下げているわけですから、議員の責任は一切ありません。その辺町民によく理解をしていただきたいと思えます。

また、23年8月、今回の議会ですが、町長に伺いたい。20年3月、一区切りがついたとき、なぜやめないで、もう19年12月にみずからやめたいということが出ていたわけですから、それ慰留したわけですから、では20年3月がどうであったか。そして、21年9月、これは任期満了です。そのときに教育長が任期が来て終わる。それはわかっているわけですから、なぜこの時点で町長は教育行政を預かるわけにはいきません。教育行政は教育委員、教育長が先頭でやるわけです、委員長と。なぜやらなかったか。そして、22年3月だと思えます。6月かな、3月だと思えますが、その時点、話が出てきたが、実際に議題にならずにおしまいにしてしまった。なぜそういうことをやったか。その3点についてしっかりとお話をお聞きしたいと思えます。

○立沢稔夫議長 金子町長。

○金子正一町長 22年2月15日だったと思うのですが、全員協議会に提案すべくお示しをした経緯というのはあります。

〔「順番に答えていってください、20年3月から。19年度の年度の
終わり」と呼ぶ者あり〕

○金子正一町長 ちょっと申しわけありません。なぜ提案しなかったのかということで一口で言えば、提案をしたいという思いはありましたが、その環境が整わなかったと、環境が整わなかったということは、提案をしていませんので、その結果がどうなったかわかりませんが、私自身の判断で取り下げをしたということが22年3月5日だったと思えますが、ちょっと日数的に間違いだったら失礼ですが、そのときに取り下げをしたと。22年8月に入りましたときには、これは取りやめをしたということだ、そのように記憶しておりますが、ちょっと日付について、もしこの年数について間違いがあっては申しわけありませんので、この年数については後ほどお答えをしたいと思います、そういう経緯をたどっていく中で、それぞれの提案する部分について私自身の判断で、そのいわゆる環境が整わなかったということで、取り下げ、取りやめということをしたということでご理解いただきたいと思います。

〔「答えていないよ。20年3月と21年9月。選挙の次ぐ春」と呼ぶ者あり〕

○金子正一町長 20年の3月。

〔「3月までは慰留したのでしょうか、重大な時期だから」と呼ぶ者あり〕

○金子正一町長 20年の3月の時点では……

〔「ぜひ3月まではということで」と呼ぶ者あり〕

○金子正一町長 3月の時点では、ちょっと申しわけありません。退職届が出されたのが記憶でちょっとないものですから、いずれにしても先ほどお答えしましたけれども、前教育長からは辞職願が出され、それを私が慰留をして引き続きお願いしたいということで、21年9月までお願いをしてきたということになると思います。22年、去年の2月15日のときに全協でお示しをしたということが最初だったかというふうに記憶しているのですが、そして3月の5日にその取り下げということ、ちょっと申しわけありません。記憶があいまいなものですから、ちょっと日付については勘弁していただきたいと思いますが、経過としてはそのような経過をたどって、22年の9月で前教育長が退職をされた。

〔「21年」と呼ぶ者あり〕

○金子正一町長 21年ですか。現在に至っているということです。なぜ提案しなかったかということについては、先ほどお答えをした、そういう状況であります。

○立沢稔夫議長 小沢議員。

○10番 小沢泰治議員 19年12月に首長がかわった。それで、そのときは大事なきだから、学校の人事異動、そういう面もあって大事だから、ぜひ3月まではということで慰留して勤めていただいた。なぜ3月に新たな体制のもとでやめていただいて、やめてくださる、そういう気持ちがあったと思うのですけれども、それを受けて、またその方が立派であれば、その方を町長が提案すればいいのですよ。また、21年の9月、任期満了、先ほども同僚議員からお話しありましたけれども、十分任期というのは決まっているわけですから、後任の方、後任の委員、それについて準備は十分できるわけです。それで、22年3月、そのときそのときが、その後3回大きなときがありました。なぜ提案できないか。なぜ名前まで上がり、住所、氏名、経歴と上がりながら取り下げなければならないか。それはみずからの議員当時の裁判の件あるいは退職金0円の件、そういう経過があって、でたらめで町長になったから、提案してもそれが可決されない。予算についても暫定予算組むと、そういうこともありました。そのもろもろの責任が町長みずからにあるのだと思います。1年10カ月間教育長が不在であって、今回23年8月、きょう上がってくるのは邑楽町の教育にとっては非常に喜ばしいことだと思います。しかしながら、これまで掲げた公約も実行しない、そういう中であって、あと残り期間3カ月、先ほども話出ましたけれども、9月にはお二方の任期が来る。また、

学校区バランスを考えれば、中野小学校区には教育委員が一人もいない。中野東小学校区には3人いる。3人でできてしまう。そんなことを考えたときに、町長みずからこのとってきているもろもろの行政に対すること、あるいは教育行政、今回のような提案、ちょっとおかしいと本人思わないですか。

先ほども話出ました、選挙目当てよりほかないのではないかと思います。また、12月には町長選挙がありますから、首長がもしかわれば、またいろいろもろもろあります。そういうことで、教育委員が教育長がいなければ教育行政は大変だ。皆さんわかっていると、町民の皆さんすべてわかっていると思います。その1年10カ月不在にした責任、それについて明確にどのような責任をとるか、また給料も下げてあります。そういうことを含めて明確なお答えをいただきたいと思います。

○立沢稔夫議長 金子町長。

○金子正一町長 明確な責任ということではありますが、提案しております教育委員の任命同意について、議員の皆さんにご同意をいただいて、そしてその後は教育関係の行政運営、教育委員の皆さんが教育の問題について真摯に活躍していただけると思いますし、私がお預かりしております一般行政の問題については、これからも鋭意努力をして、町民の皆さんへのサービスの後退がないように取り組んでいきたいと、そのことで責任を果たしていきたいと、そんなふうに思っております。

○立沢稔夫議長 小沢泰治議員、まとめをお願いします。

○10番 小沢泰治議員 これまでは本当に邑楽町が真っすぐ歩めなかったというのが多々ありますけれども、やはりこの方ということで、自分で自信を持って提案なさったならば、取り下げをしないで。たまたま1度目は否決されるかもしれない。でも、教育委員、教育長が不在ということは、先ほども話出ました群馬県じゅう見てもないわけです。そういうことで、群馬県の教育のトップにいらっしゃった方、県職で。そういう方を再度提案するならば、2度目にはきっと賛同を得られたと思います。なぜかといいますと、教育委員が不在というのは異常ですから、その場合2度目に否決したとすれば、議員は町民の皆さんから、有権者の皆さんから批判を受けなければならないと思いますけれども、1度目取り下げ、2度目取りやめ、その邑楽町をがたがたにした大きな責任は私町長にあると思いますよ。これから3カ月残任期間ありますけれども、幾ら頑張っても、過去の負の遺産は私は取り戻せないと思います、多方面にわたってです。ぜひもろもろを考えていただいて、町民の皆さんに邑楽町がよくなるために、前進するために、教育行政がしっかりとり行われるようぜひ私祈念しております。これから正しい情報を正しく町民にぜひ伝えていただきたいと思います。行政の長ですから、邑楽町はもちろん、近隣の市町あるいは群馬県じゅうに恥じないように、ぜひこれから3カ月頑張っていたいただきたいと思います。

以上。

○立沢稔夫議長 ほかに質疑ありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○立沢稔夫議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

塩井早苗議員。

〔1番 塩井早苗議員登壇〕

○1番 塩井早苗議員 1番、塩井早苗でございます。同意第3号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて、賛成討論を行います。

今回大竹喜代子先生が教育委員に任命されることは、邑楽町の教育行政方針の……

〔「先生じゃないよ」と呼ぶ者あり〕

○1番 塩井早苗議員 失礼しました。私にとっては先生ですので、先生とさせていただきます。

〔「進行、討論進行」と呼ぶ者あり〕

○1番 塩井早苗議員 はい。邑楽町の教育行政方針の目標として掲げてあります「郷土を愛し、心豊かな人づくり」についてご尽力される方と信じております。それは既に長柄小学校の教頭先生、それから校長先生として務めまして、力量は発揮されております。多くの子供たちや父兄、また先生方々から高く評価され、信頼されています。教育行政方針の基本理念に基づいて、信頼と秩序ある教育の実現に向け、教育委員会、行政、議会の連携を図る必要を感じます。よって、大竹喜代子先生の教育委員任命に対し、ご同意申し上げます。

賛成討論は以上でございます。

○立沢稔夫議長 ほかに討論ありませんか。

田部井健二議員。

〔9番 田部井健二議員登壇〕

○9番 田部井健二議員 同意第3号につきまして、賛成の討論をいたします。

さきの質疑でも何度も申し上げましたけれども、今の町のトップリーダーは、自分に責任があることを認めていても、一切の責任はとりたくない、そんなふうにしております。そして、前回何度も何度も取りざたをされた教育委員の予定者についても、この間一切の経緯、経過、報告も行っていないとしております。私はこの1年10カ月間、この方については本当に多大なご迷惑とご心痛をおかけをしていたとっております。今回このような提案を議会に持ち出すのであれば、私は人の道として、人の気持ちとしてその方に報告、了解まで私は必要ないと思っております。そのような方ではありません。ただ、報告をするのは、私は人の道だと思っております。それを一切しない。それが今の町長の人柄であります。だから、こうやって1年10カ月間も混乱と騒動が続くわけです。私は今回この任命同意が出されました。ぜひともこれを議会一致して全員で可決をしてあげたい。そして、町の教育行政を、組織をきちんと正常化にしてあげたい。

教育行政の組織は、先ほども出ましたけれども、町行政とは別物でございます。町行政のトップ

がこれだけ今現在だらしがないのであるのであれば、せめて教育行政の組織だけはきちんとした組織をつくってあげなければ、未来を担う子供たちがかわいそうであります。ぜひとも今回皆さんで、全員でこの任命同意を可決をして、正しい、きちんとした教育行政をつくってあげたい。もう二度とこんな教育長不在が2年近くも続くと、こんな町を見るのはたくさんであります。そして、このような事態を引き起こして、なおかつ一切責任をとりたくない。私は今の町長には町行政についても本当に期待ができづらい。ぜひとも教育行政のほうで頑張って、子供たちをきちんとした道に引っ張っていただきたい、そのような願いから賛成討論とさせていただきます。

○立沢稔夫議長 ほかに討論ありませんか。

本間恵治議員。

〔14番 本間恵治議員登壇〕

○14番 本間恵治議員 同意第3号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて、私も賛成の討論をさせていただきます。

この教育委員の任命につきましては、今まで議論、質疑ありましたけれども、私は町長の行動、行いについては、決して褒められるものではない。それは私も確信をしておりますが、教育委員に任命された方、そしてまたこれから教育行政をつかさどる人たちが、やはり邑楽町の教育を見据えて立派にやっていただくことが私はその人たちに課せられた役割だというふうにも思っています。ただ、残念なのは、町長は一言も反省の弁を述べない。これから一生懸命やるのだ、そういうふうな形の中ですべて逃げておりますけれども、私は一言今までそれに携わってきて、自分で引き延ばして、2年近くにも及ぶ教育長の不在、これについては私は町長に本当に責任があるというふうに思っております。しかしながら、教育行政をつかさどる教育委員が早く決まって、町の教育執行体制がきちんとできることについては、私も早く決めていただきたい、そういうふうに思います。

しかしながら、わずか1カ月、任期を前にして、教育委員さん1人を任命することにつきましては、私は9月の定例会において3人地域バランスを考えた中で、今までの反省の中に立って、きちんとした執行体制を組んでいただきたかった。このことについては私は無念でなりません。しかしながら、町の教育執行体制について、早くきちんとした体制を確立していただくことが議会にとっても私は課せられた役割ではないかなというふうにも思います。どうか町の教育体制がしっかりした中で私は今後教育長が決まれば、それに対して教育行政として一般質問等を徹底的にやりながら、教育行政をただしていきたい、そういうふうにも思います。

私はこの同意につきましては、町長の行いについては、私はいささか誤りがあると思いますけれども、教育委員になられる大竹さんにつきましては、私は何ら異存はございません。それについては賛成とさせていただきますと思います。よろしく願いいたします。

○立沢稔夫議長 ほかに討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○立沢稔夫議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより同意第3号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて採決します。

本件はこれに同意することに賛成の方は起立願います。

〔起立全員〕

○立沢稔夫議長 起立全員。

よって、同意第3号はこれに同意することに決定しました。

◎町長のあいさつ

○立沢稔夫議長 以上で日程は終了しました。

町長から閉会に当たり発言の申し出がありますので、許可します。

金子町長。

○金子正一町長 第3回邑楽町議会臨時会の閉会に当たり、一言御礼の言葉を申し上げます。

審議をいただきました同意第3号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて、全会一致ご同意をいただきまして、ありがとうございました。教育委員会の教育行政のさらなる充実を期待するものであります。町といたしましても、学校教育を初め教育環境の整備について努力してまいり所存であります。

議員の皆様方におかれましては、これから体をご自愛の上、体に十分注意されまして、ご指導いただきますようによろしくお願い申し上げまして、御礼のあいさつといたします。ありがとうございました。

◎閉会の宣告

○立沢稔夫議長 これをもちまして、平成23年第3回邑楽町議会臨時会を閉会いたします。

ご協力大変ありがとうございました。

〔午後 零時08分 閉会〕